

『“「潮目」のまち”、いわき』として、..

黒潮と親潮がぶつかるいわき沖の海は「潮目」の海であり、全国有数の魚介類を育む好漁場として知られています。「潮目」とは、何かと何かがあつかる所にある境界線、境目であり、何かと何かがあつかり合うことで生まれる“多様性”を形容しているとともに、相反するものが混じり合うことがいかに豊かな可能性を秘めているかという意味あいも含んでいます。「潮目」は、広域都市ゆえに地域ごとに受け継がれてきた様々な固有の歴史や文化、風土が、独自の個性・オリジナリティとなりながら、確かな文化的多様性として存在するいわきの有様をまさに具現化する言葉であり、いわきは“「潮目」のまち”そのものであると私たちは考えます。このまちには、私たちがまだ知らない「潮目」や、その「潮目」が生み出す豊かさ、新たな価値観、楽しさや面白さがまだまだあるのではないのでしょうか。「潮目」の本質を探し、様々な視点や角度から見定め、あるいはその「潮目」を創造し、表現し、この無限の可能性を秘めた“「潮目」のまち”の魅力と活力をさらに高めるため、本ビジョンでは3つの基本理念を打ち立て、それを実現するための5つの基本方針のもと、文化芸術に関する施策を推進していきます。

基本理念

- ❖ 誰もが文化芸術に親しみやすく、楽しめる市民生活の実現を目指します。
- ❖ 文化的多様性を活かした、誰もが誇りと愛着を持つ魅力あるまちを目指します。
- ❖ 常に時代の変化をとらえ、文化芸術の新たな可能性に挑戦します。

「基本方針」

I であう・たのしむ
～市民の文化芸術活動～

【施策/主な内容】

1. 市民が優れた文化芸術に触れ・親しむ機会の充実
・市民のだれもが、あらゆる地域で優れた文化芸術を享受できる機会の提供
・市民一人ひとりの文化芸術活動への意識向上と市全体の文化芸術の質の向上
・潤いのある市民生活の実現
2. 市民が文化芸術活動を行う機会・場の創出とその活動支援
・自分の生活圏で主体的に文化芸術活動ができる機会の提供
・活動の成果を発表するための目標となるような場の提供
・文化芸術活動をしていない人、興味のない人を巻き込む環境づくり
・文化振興基金の安定した財源確保と効果的な活用方法の検討
3. 文化施設等の適正な維持管理と市民の自主的・主体的な活動の推進
・文化施設等の適正な維持管理による、文化芸術活動がしやすい環境づくり
・文化芸術活動をする場所の提供
・市民の自主的・主体的な文化芸術活動への支援、環境づくり

II そだてる・ささえる
～文化芸術を担い支える人材・団体の育成・強化～

【施策/主な内容】

1. 子どもたちが多様な文化芸術の魅力に触れ、理解を深める環境づくり
・すべての子どもたちが、様々な分野の優れた文化芸術を鑑賞し、創造し、体験することができる機会の提供
・子どもの感性を磨き、豊かな情操を育む取組み
・子どもたちの文化芸術への興味・関心を高め、文化芸術への理解を深める取組み
・教育課程と連携し、就学前児童・小学生・中学生・高等学校との連続性を持った取組み
・将来文化芸術に携わる人材の育成
2. 地元アーティスト等の活動支援と活躍の場の創出
・発表の場、活動拠点やプロモーションの機会を提供するなどの環境整備
・若手芸術家の育成・支援
・情報交換・共有の機会、場の提供
・次世代の文化芸術の担い手となるべき人材の発掘・育成
・ステップアップするための様々な支援策の検討
3. 地域文化の振興に寄与する団体の活動支援
・芸術文化団体等が交流・活動する場の創出や活動しやすい環境整備
・芸術文化団体等が自主的・主体的に行う文化芸術活動への活動費の支援や、人的支援
4. 地域の文化芸術を高め、貢献する人材の事業参画への推進
・専門家、プランニング人材（芸術監督、地域デザイナー）、アートマネジメント人材、コーディネーター（文化芸術団体、企業、行政の各セクションとの橋渡し役）等の登用・育成
・専門人材の活躍しやすい環境整備
・市の文化行政を担う人材のスキルアップ
・地元アーティスト、スキルを有する人材など、文化芸術活動に携わりたい人材の発掘と活用を図る制度の構築
・文化ボランティア人材の積極的な事業参画への推進
5. 顕彰制度の活用とさらなる文化芸術の普及・向上
・顕彰を通じて、市民の文化芸術活動を促進し、優れた作品が生まれる機会の創出
・若手を含むアーティストの育成、チャレンジやステップアップに繋がる制度の構築
・受賞が市民に還元される仕組みづくり

「基本方針」

III みつける・つたえる
～文化芸術の新たな可能性～

【施策/主な内容】

1. 文化芸術の新たな発信方法への取組み
・誰もが等しく気軽に情報が得られる文化芸術の情報発信への取組み
・ニューノーマル時代における文化芸術の新しい価値観の提案、事業展開
・民間と連携・協力した文化芸術の情報収集・発信の拡充、新しい広報手段の構築
2. 新たな文化芸術分野への取組み
・アニメーション文化や食文化等、市内での浸透が薄い分野の振興
・文化芸術の「多様な価値」（本質的価値及び社会的・経済的価値）の創出
・新しい文化芸術の担い手の発掘・育成活動、事業への支援体制の構築
3. 文化資源の掘り起こしとまちの魅力の再発見
・今ある文化資源を掘り起こし、まちの価値を再認識・再発見する取組み
・市民のまちへの誇りと愛着を共通認識とし、文化意識の向上を図る取組み
・自然と文化芸術の風土が醸成されるまちづくり

IV まもる・いかす
～歴史・伝統・文化の継承と革新～

【施策/主な内容】

1. 文化財などの保護と継承
・有形指定文化財の適切かつ良好な状態での保存・保護
・収集・整理・記録としてデジタルアーカイブ化を進めることでの後世への継承
・郷土史会など継承団体の活動支援と存続への支援策の検討
・災害等に対して文化財を適切に保存・保護し、後世に継承するための情報発信
2. 文化資源の効果的な活用によるまちの魅力向上
・アーカイブなどの活用により、伝統の革新を図る取組み
・ポータルサイトの構築・アプリの開発など、オンラインを活用した取組み
・SNS等を活用した効果的な情報発信により、まちの文化芸術資源を知ってもらう取組み
・文化財保存活用地域計画の策定
3. 特色ある地域独自の伝統芸能の保存と継承
・伝統芸能などの無形民俗文化財のアーカイブ化による記録・保存と活用
・伝統芸能活動や担い手の育成活動への支援
・子どもたちへのアプローチによる後継者や担い手の育成
・伝統芸能などの無形民俗文化財の次世代への継承

V つながる・ひろがる
～連携・協働・協力による文化芸術の推進～

【施策/主な内容】

1. 事業主体間の連携強化による相乗効果の創出
・企業やNPOなど地域のさまざまな担い手と連携・協働するプラットフォームの構築
・市関係部署担当者会議や関係機関との連絡調整会議の設置等、組織間の連携・協働と情報共有の強化
2. 文化芸術の持つ創造性を活用したまちの活力・魅力の向上
・観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業など様々な分野へ文化芸術を取り入れた、分野横断的な施策展開の推進
・誰もが容易かつ気軽に情報を得られるHPやSNSの活用によるツールの開発
・文化芸術が持つ様々な価値の創造・活用を検討し、まちの活力・魅力の向上に向けた取組みの推進
3. 効果的な施策展開のためのビジョンの進行管理
・効果进行评估し、点検・見直しを行いながら、施策を展開していくための検証組織の設立
・計画の進捗状況や施策の効果をより適切に点検・評価するための指標や評価方法の検討（PDCAサイクルでの計画の改善等）